

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号 029K

報告日 令和5年8月24日
報告回次 2日目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	甲賀市	代表者名	岩永 裕貴
担当者部署	情報政策課	連絡先電話番号	0748-69-2117
担当者役職	主査	担当者氏名	六岡 憲一郎
		連絡先E-mail	*****
住所	528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口6053番地		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回、全職員を対象に講演頂き、情報部門以外の職員でも理解できるように一般的な用語や具体的な事例を交えて説明していただいたところが良かった点です。そのおかげで、参加者の多くは実際の業務に活かせるアイデアや発想力を得ることができ、本研修の目的達成につながりました。
アドバイザーへの要望事項	要望事項はございません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年9月13日	講演(実地)	有	令和5年5月15日	628
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年8月17日	講演（実地）	8時30分	16時00分	
				活動時間（分）	450
3-2. 派遣場所	会場名	あいこうか市民ホール	最寄駅	水口城南駅	
	所在地	滋賀県甲賀市水口町水口5633番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可 https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	甲賀市職員（前半：124名、後半：136名）	260人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	市民ニーズが多様化する中、限られた職員数で行政サービスを提供するためには、業務の効率化と行政サービスの抜本的な改革が必要です。そのため、職員個々の発想力を強化し、DX意識改革にも注力しておりますが、この取り組みはまだ発展途上の段階にあるため、段階的な底上げが課題と捉えております。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	これまでのやり方に固執しない、柔軟な発想と挑戦の思考をもち続けられるマインドセットを期待しております。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	職員がDX推進を実行するにあたって何から始めれば良いか分かっていない背景を踏まえ、 ・すぐに実践可能な具体的なアクション（身近なツールの活用、紙印刷をしない意識改革等） ・DXの考え方（業務改革と自治体DXの違い等） を軸に講演（支援）いただいた。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	多くの職員は何からDXを始めれば良いか分かっていない状況であったが、研修後アンケートを確認すると、今後の実業務に活かせるといった回答が7割以上あったことを鑑みると、目指す成果であった「職員のマインドセット醸成」は達成(解決)できたと考えております。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	甲賀市では文書管理の電子申請を進めているが、文書サイクルの観点では、まだ改善余地があると助言いただいたため、高橋様から紹介いただいた他市の好事例をもとに今後推進を進めていく予定です。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修後のアンケート結果では「今後の業務に活かせる」といった回答が7割あり、職員個々の段階的な底上げに向けた礎は築くことはできたと考えております。今後も職員が主体的に自治体DX推進が行えるように取り組む予定です。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	庁内全体にDX推進のマインドセットが根付いており、組織全体でその考え方が浸透されている状態を目指しております。最終的には、各課が自らの業務において、自走または情報部門の協力を得て、改善に取り組んでいる状態を目指しております。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



